

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	のり面シート再設置	作業手順書	作成年月日	令和3年3月22日
使用機械 (使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す))	トラック		現場責任者	目黒サイン
使用工具 (大きき大さ等は 具体的な寸法を 記す)	振動ドリル、アンカー(14mm)、のり面シート(10m×10m)、新幹線ロープ		元請確認	
保護具	ヘルメット、フォッキ、安全靴、手袋、警笛、安全帯、親綱、単管、単管ベース		改正年月日	令和3年3月23日
免許・資格等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記す	普通免許、振動工具(特)		作業順序	
作業人員 (当作業に関わる 役割と人員を全て記 す)	責任者 1人、作業員 人、監視員 人 合計 名			
作業手順	作業責任者(職長) 周知会実施日			
周知会 参加者 サイン (記録)				
1			事前調査	
2			準備作業	
3			現地KY	
4			安全対策設置	
5			シート撤去	
6			シート再設置	
7			後片付け	
8				

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	危険性・有害性の除去・低減のための実施すべき事項の特定(防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)					
事前調査	作業箇所確認 周辺安全確認	作業必要箇所の拾い出し 危険ポイントの確認						
準備作業	ミーティング 機械・道具の点検	健康状態の確認 免許・資格等の確認 日常点検により機械・道具の動作の確認						
現地KY	現場に到着後全員でKY活動を行う。	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
安全対策設置	のり面及び小段からの落下防止対策の設置。 のり面作業用の親綱を設置。	天端部に単管ベースを固定し、単管を立て親綱を設置する。 強固な立木等にロープを固定し、のり面に垂らす。	アンカー打設時にハンマーで手を叩く。	△	△	△△	3	叩く前に手の位置や姿勢を正し、慎重に作業する。
シート撤去	破損したシートの撤去	上部の固定を撤去し、シートを巻き上げる。	シート撤去時に強風に煽られ、シートが飛散する。	△	△	△△	3	強風時は作業を止める。また、複数人で作業を行う。
シート再設置	設置するシートを広げる。 シートを天端にアンカーで固定。 シートの下部を土のうで押さえる。 シートの張り具合を確認後、ロープ固定した土のうを上から順次設置する。	のり面から転落しないよう親綱に安全帯をかけ作業する。 振動工具(特)を持っている人が作業を行う。 土のうと一緒に転落しないよう、親綱に安全帯をかける。	削孔時にOo粉が目に入る。	△	△	△△	3	防護眼鏡を着用し作業を行う。
後片付け	現場確認 道具、車両の後片付け。	忘れ物がないか確認する。						工事車両を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事